

科目番号		52132	分類	助産診断技術学	履修者	高度実践助産コース		学年		
科目名	実践助産学特論 (Theory on Practical Midwifery)							1～2		
								配当セメスター		
								通年		
担当者	○渡邊 香 他3名			区分	助産師プログラム	必修	単位	2	時間数	30
授業の概要および目標							学位授与の方針との関連			
【概要】 医学・助産モデルの両方の視点から助産診断・助産ケアを可能にする発展的・応用的な知識ついて学習し、実践力の強化を図るための基本とするため以下を強化する。 妊産褥婦の救急に対応できるチーム運営とチームの一員としてのスキルを知りチーム医療の基本を習得すること、加えて、胎児の well-being の助産診断力強化を学び、特に、新生児の救急蘇生に対応するための知識と技術（NCPR のライセンス取得）を習得する。 【目標】 1. チーム医療の基本を学び、チームで動けるためのスキルを説明できる。 2. 妊娠期・産褥期の超音波画像の基本について説明できる。 3. 産科麻酔について説明できる。 4. 産科救急および一次救命処置（BLS）について説明できる。 5. 新生児の救急蘇生に対応するための知識と技術を説明できる。 (NCPR の A コースライセンス取得)							○	1.自律して自然分娩の支援ができる能力		
							○	2.院内・院外助産システムを担うことができる能力		
							○	3.女性の生涯にわたる健康を支援できる能力		
							○	4.周産期の救急時に対応できる能力		
							○	5.他職種と連携・協働し、質の高い助産ケアを提供できる能力		
								6.研究・開発能力		
							○	7.倫理的意思決定能力		
授 業										
回	内 容								担当教員	
第1回	ガイダンス、医学・助産モデルの視点からの助産診断・ケア								渡邊 他3名	
第2・3回	超音波検査法（経腔・経腹） 総論：超音波検査の原理と操作法などの基礎、臨床上の意義									
第4・5回	無痛分娩の管理とケア									
第6・7回	産科麻酔の実際									
第8回	フリースタイルの基礎理論									
第9回	産科救急への対応									
第10・11・12回	一次救命処置（BLS）									
第13・14・15回	新生児の救急蘇生 NCPR（A コース）									
事前・事後学習	事前学習：テーマに関連した文献を収集し、討論のための基礎的知識について予習すること。 事後学習：技術については各自自己練習を行うこと。 BLS は東京地区の BLS プロバイダーコース等で各自が取得する。									
評価の方法	授業・討論への参加状況（80%）・BLS、NCPR 取得（20%）にて総合的に評価する。									
参考図書・資料等	◎助産の視点でよくわかる無痛分娩～母子の安全を守るための知識と実践～,インターメディアカル,2026 他の資料については各講義ごとに紹介する ◎は授業の必携図書のため購入を必要とする。									
備考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。 フィードバックは適宜行う。 ＊講義内容の順番については変更あり									